



写真1 国会議事堂

近隣散策

国会議事堂

第1回目の帝国議会が開かれたのは、今から1世紀以上も前の明治23年(1890年)。当時は木造の「仮議事堂」を使用していました。当初の建築計画では議事堂だけでなく中央官庁も含めた大規模なものでしたが、財政的にも期間的にも難しいと判断され、議事堂の本建築は中止になり、現在の千代田区霞ヶ関1丁目経済産業省の区画に仮議事堂が建築されました。日清戦争時は、大本営が広島県広島市に設置されたことにより、第7回帝国議会(1894年開会)は「広島臨時仮議事堂」で開催されました。

現在の国会議事堂(写真1)は、大正9年(1920年)1月に着工し、延べ254万人、17年の歳月をかけて昭和11年(1936年)11月に完成しました。構造は地上3階(中央部4階、中央塔9階)、地下1階で、長さ206.36m、奥行き88.63m、中央塔の高さは65.45m。意匠設計は一般公募され、118通の応募から当選した図案を参考に大蔵省臨時議院建築局が作成しました。建築当時は日本一の高さを誇り、ほぼ全ての物に国産品が使われました。石材などは日本全国から厳選して集められ、永田町の高台に美しい御影石で装われた議事堂が「白亜の殿堂」と賞賛されました。同年12月24日に召集された第70回帝国議会から使用されています。

正面に向かって右側が参議院、左側が衆議院。その中間に位置する中央広間(写真2)には、4つの台座があり、議会政治の基礎を築くのに功労のあった板垣退助、大隈重信、伊藤博文の銅像が立っていますが、4つ目の台座には銅像がありません。これは、4人目を人選できず将来に持ち越された、また、「政治に完成はない、未完の象徴」という意味もあるといわれています。

参考文献

参議院公式サイト 国会議事堂案内●URL <https://www.sangiin.go.jp/japanese/taiken/gijidou/1.html>
千代田区観光協会 VISIT CHIYODA●URL <https://visit-chiyoda.tokyo/app/spot/detail/503>



写真2 中央広間(提供:参議院事務局)

